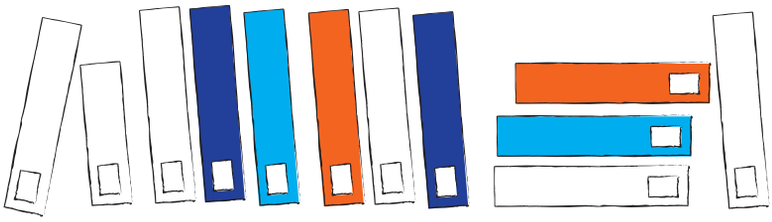
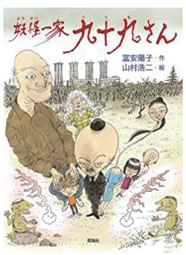


よむよむ
4・5・6年生のみなさんへ

浦安市立図書館　2021.7



妖怪一家九十九さん
富安陽子／作　山村浩二／絵　理論社

化野原団地東町三丁目のＢ棟・地下十二階に、7人の妖怪が家族として暮らし始めました。瞬間移動ができるヌラリヒョンパパ、首が伸びるろくろっ首ママなど、妖怪一家は変わり者ばかり。慣れない人間の世界でうまくやっていけるのでしょうか。★シリーズあり

ガーティのミッション世界一
ケイト・ビーズリー／作　井上里／訳　岩波書店

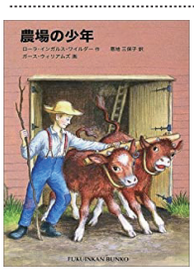
ガーティは世界一の小学五年生を目指す元気いっぱいの女の子。死んだカエルを生き返らせたり、スピーチで１番を目指したり、世界一になるための様々なミッションに挑みます。ところが、転校生のメアリー・スーはガーティの邪魔ばかりするのです。

ゼラルダと人喰い鬼
トミー・ウンゲラー／さく
たむらりゅういち・あそうくみ／やく　評論社

子どもが大好物の「人喰い鬼」がこわくて、町にすむ子どもたちはみんなかくれていました。でも、とおくの森にすんでいるゼラルダはそんなことを知りません。おなかがすいてたおれていた人喰い鬼がかわいそうで、おいしい料理を作ってあげます。

銀のほのおの国
神沢利子／作　福音館書店

たかしとゆうこの家の壁にかけられたトナカイの剥製に、ふとしたことから命がやどり、兄妹を巻き込んで壁の向こうへ駆け出しました。ふたりが迷い込んだのは、残酷な青イヌが支配する、雪と氷の国。よみがえったトナカイは、はるか昔にほろびた王国の復活をかけ、仲間とともに、青イヌとの闘いに挑みます。



農場の少年
ローラ・インガルス・ワイルダー／作　恩地三保子／訳
福音館書店

１００年以上昔の開拓期アメリカ。ワイルダー家の末っ子アルマンゾは、学校へ行くよりも父さんの農場の仕事を手伝うのが好きでした。羊の毛刈りや作物の収穫、母さんが作るクリスマスのごちそう…家族みんなで協力する暮らしには、楽しいことがたくさんあるのです。★シリーズあり

はちみついろのうま
小風さち／作　オリガ・ヤクトーヴィチ／絵
福音館書店

美しいはちみつ色の髪の娘が、入ってはいけない森に入り込み、おにばばと出会います。おにばばにつかまって森の奥へひきずられるうちに、娘の体は馬に変わってしまいました。娘を探し回っていた婚約者のかじやは、その馬を見て娘だと気づき、救い出そうとします。

魔女のこねこゴブリーノ
アーシュラ・ウィリアムズ／作　中川千尋／訳
福音館書店

ゴブリーノの夢は、ふつうの家庭の台所ねこになって、みんなと仲良く暮らすこと。ある日、魔女に置き去りにされたゴブリーノは、自分を飼ってくれる家を探して、みなしごの家、宮殿、船と旅してゆきます。でも、魔女のこねこをおいてくれる家はなかなか見つかりません。

やってみよう！しらべてみよう！

桃太郎は盗人なのか？
-「桃太郎」から考える鬼の正体-
倉持よつば／著　新日本出版社

この本の作者は小学生です。桃太郎は鬼から宝物を奪った悪者だという説を知っておどろき、本当にそうなのか調べるため、図書館に通って200冊以上の『ももたろう』関連の本を読みくらべました。夏休みの調べ学習の記録です。

和算
佐藤健一／文　文溪堂

昔の日本で使われていた算数を「和算」といいます。ねずみが12匹の子どもを生み、次の月には親も子も12匹の子を生みます。1年後にねずみは何匹になっているでしょう（ねずみ算）。江戸時代の子どもが楽しんだ和算をといてみませんか。